

質 問 回 答 書

件 名 令和８年度愛川聖苑予約システム導入業務委託

No.	質 問	回 答
1	仕様書 2（3）画面要件 「式場」に関する記載がございますが、機能要件一覧には、「式場」に関する記載がありません。本システムで式場予約まで管理する場合、ご要求の機能要件をご提示いただけますでしょうか	2. システム概要、（3）画面要件表中「その他」の欄に記載のとおり、愛川聖苑は1日9枠の火葬炉使用と2つの式場にて運用しており、式場を利用する場合、火葬炉は午後0時30分の2枠（1枠は町内専用枠）に限定して予約を受付けておりますことから、火葬炉の式場利用者専用枠の2枠については、式場の前日の通夜使用と同日の告別式使用とリンクさせることとする。 （例） 4月1日（通夜）＊通夜を行わない場合も含む 4月2日（告別式） 4月2日（火葬炉 午後0時30分）
2	仕様書 6（3）管理者向け研修、（4）利用者向け研修 研修はいずれも現地開催の認識でよろしいでしょうか。	（3）管理者向け研修、（4）利用者向け研修の両研修ともに、愛川町施設での現地開催形式での研修実施を予定しています。
3	機能要件②（職員向け機能） 項番26 「予約一覧出力時に異体字（外字）が印刷できること。」とありますが、本調達に外字ソフトは含まれていない認識でよろしいでしょうか。また、外字の入力は貴町の端末にインストールされている外字を使用し、システムは端末から入力・登録された外字を、予約一覧出力時に表示されればよろしいでしょうか。	本町が本システムに提供可能な既存の外字ソフトウェア及び登録済みの外字データはありません。 また、本調達には、外字作成・管理ソフトウェアの調達並びに外字データの作成及び登録は含まないものとし、受注者がこれらを別途調達、作成又は登録する必要はありません。 なお、別紙2「愛川聖苑予約システム機能要件一覧」項番26については、Windowsが標準で対応する文字及び各端末で利用可能な外字をシステムに入力・登録し、予約一覧に表示及び印刷できることを求めるものです。ただし、端末ごとに作成又は登録された外字データの共有若しくは同期、又は端末間における同一の表示及び印刷の保証は、本要件の対象外とします。
4	機能要件②（職員向け機能） 項番37 「改葬許可証を出力できること。」とありますが、地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化対応で、火葬許可証は火葬等許可事務システムで出力することになっておりますが、本システムから出力する必要がありますでしょうか。	ご指摘をいただきましたとおり、改葬許可証については、埋葬されている遺骨を墳墓から他の墳墓へ移す際に使用する様式であり、施設予約時に使用する施設予約システムでの対応ではないことから、帳票出力機能については、不必要であるとの見解に至りましたので、機能要件から除外することとします。 また、火葬許可証についても、予約システム導入後においても、本町現行の運用方法であります戸籍システムからの出力を予定しておりますので、予約システムでの運用は不必要であります。
5	機能要件②（職員向け機能） 項番33～37 帳票のレイアウトをご提示いただけますでしょうか。	集計帳票については、別紙2に記載する帳票及び出力範囲を必須要件とし、現時点では、それ以外に指定する出力必須項目及び集計条件はありません。ついては、各帳票の出力項目、集計方法、操作性及びレイアウトについて、提案システムの標準機能を基本として提案してください。
6	仕様書 2（2）機能要件 別紙2「愛川聖苑予約システム機能要件一覧」の各要件について、提案システムで実現できない機能又は記載された要件とは異なる方法で実現する機能がある場合、提案者間で同一の条件により比較・評価できるよう、対応可否及び代替方法を明示する必要があると考えます。各機能要件に対する対応状況（標準機能、カスタマイズ、非対応、代替提案等）の記載方法についてご指定ください。	ご指摘のとおり、提案者間で同一の条件により比較・評価できるよう、対応可否及び代替方法を明示する必要があると考えますことから、別紙として、パッケージ適合状況を提示しますので、提案書提出と共に提出を行ってください。

7	仕様書 5（5）移行業務 現在使用されている既存システム等から本システムへ移行するデータはありますでしょうか。移行対象となるデータがある場合は、対象データの種類、件数、データ形式及び提供方法をご教示ください。また、移行対象となるデータがない場合は、本項に定める移行業務及び移行計画書の作成は不要との理解でよろしいでしょうか。	愛川聖苑では、今回が初めての施設予約システム導入であり、現在は予約情報を紙台帳で管理しているため、既存システムから移行する電子データはありません。 したがって、既存システムからのデータ移行業務及び移行計画書の作成は不要です。
8	機能要件①（葬祭業者向け機能） 項番 8 機能要件②（職員向け機能） 項番 39 「町内優先枠」について、対象となる予約枠、町内優先として取り扱う期間及び町外利用者へ開放する時期等、具体的な運用ルールをご教示ください。	愛川聖苑は、1日9枠の火葬時間により運用（①9：30、②10：30、③11：30、④12：30、⑤12：30、⑥13：30、⑦14：30、⑧14：30、⑨15：30）しており、「④12：30」については町内優先枠として確保を行い、前日の第一式場並びに当日の第一式場使用とリンクさせ一括予約を行います。 ＊町内優先枠は「死亡者の住民登録地が愛川町」または「厚木市棚沢自治会」に加入している者」の使用に限定する。 【予約例】 ◎第1式場（町内優先） ◎第2式場 4月1日（通夜） 4月1日（通夜） 4月2日（告別式） 4月2日（告別式） 4月2日（火葬炉④12：30） 4月2日（火葬炉⑤12：30） ＊火葬前日に通夜を執り行わない場合も祭壇の飾りつけ等を行うため、式場の予約は火葬前日と火葬当日の2日間が必要。
9	機能要件②（職員向け機能） 項番 26 仕様書 3. システム稼働環境 「予約一覧出力時に異体字（外字）が印刷できること。」について、現在、愛川町において本システムで利用可能な外字環境はございますでしょうか。既存の外字環境がある場合は、外字ソフトウェアの名称、バージョン及び利用対象となる端末をご教示ください。 また、既存の外字環境がない場合は、本要件を実現するために必要となる外字ソフトウェア等を受注者にて調達するとの理解でよろしいでしょうか。	本町が本システムに提供可能な既存の外字ソフトウェア及び登録済みの外字データはありません。 また、本調達には、外字作成・管理ソフトウェアの調達並びに外字データの作成及び登録は含まないものとし、受注者がこれらを別途調達、作成又は登録する必要はありません。 なお、別紙2「愛川聖苑予約システム機能要件一覧」項番26については、Windowsが標準で対応する文字の範囲内で、異体字を予約一覧に表示及び印刷できることを求めるものです。端末ごとに作成又は登録された外字データの共有若しくは同期、又は端末間における同一の表示及び印刷の保証は、本要件の対象外とします。
10	機能要件②（葬祭業者向け） 項番 34～37 集計帳票について、月次及び年次での集計が必要と理解しております。各帳票について、出力必須となる項目及び集計条件がございましたらご教示ください。	集計帳票については、機能要件②項番34～37に記載する帳票及び出力範囲を必須要件とし、現時点では、それ以外に指定する出力必須項目及び集計条件はありません。 ついては、各帳票の出力項目、集計方法、操作性及びレイアウトについて、提案システムの標準機能を基本として提案してください。
11	機能要件②（葬祭業者向け） 項番 45 「職員向けに定期メールを送信できること。」について、本機能で想定されている利用目的、送信する内容及び送信タイミングについて、具体的な運用例をご教示ください。	本機能は、職員が行う定期的な確認作業の漏れを防止するために利用することを想定しています。具体的には、日ごとの予約受付締切時刻など、あらかじめ設定した時刻に、当日の予約内容や仮予約の処理状況を確認し、予約簿を出力するよう職員に促すメールを送信する運用を想定しています。 なお、予約受付時の確認通知を含め、導入実績に基づく有効な活用方法がある場合は、併せて提案してください。
12	プロポーザル実施要領 5（5）システムの導入等にかかる予算の上限等 導入業務の予算上限額を記載いただいておりますが、令和8年4月以降の運用費用の上限額は設定されておりますでしょうか。もし設定されている場合は運用費用の上限額をご教示ください。もし上限を設定していない場合でも想定されている上限の目安等がありましたらご教示いただけますでしょうか。	「導入業務の予算上限額」については、3月15日の本格導入から発生する1ヶ月分のランニングコストも含むものとなっております。また、実施要領「14. プロポーザル評価について」の「（2）評価基準表」にて、「課題提案・ランニングコストについて」を求めていますことから、町から目安等を提示する予定はございません。令和9年3月分を含めそれ以降のランニングコストについて、会社としての方針等について具体的な説明や提示をお願いいたします。

13	プロポーザル実施要領 12. 提出書類（１）提出書類一式「●評価項目」 提出書類の表内に「●評価項目（任意書式可）」とございますが、企画提案書をパワーポイント等による任意書式で作成可能という認識でお間違いございませんでしょうか。 その場合、様式6の枠内には「別紙任意書式に記載」というような記載で問題はございませんでしょうか。	任意書式可としているものについては、様式 6 に示す項目を網羅していれば、パワーポイント等による任意書式で作成可能としています。様式 6 の枠内には「別紙任意書式に記載」というような記載で問題はありません。
14	プロポーザル実施要領 12. 提出書類（１）提出書類一式 ウ「帳票サンプル」 帳票サンプルは上限の20ページ以内に含まずに、サンプルを印刷したものを提示させていただき認識でお間違いございませんでしょうか。	帳票サンプルは上限の 20 ページ以内に含まずに、サンプルを印刷したものを提示してください。
15	プロポーザル実施要領 13. 審査 愛川聖苑予約システム選定委員会の審査をされる方の役職・所属部署等についてご教示いただけますでしょうか。	愛川聖苑予約システム選定委員会は、愛川聖苑の運営を担当する部署の職員 3 名及び本システムの導入に係るその他の部署の職員 2 名の計 5 名で構成し、審査を行います。 委員の具体的な役職及び所属部署については、プロポーザル当日に紹介します。
16	仕様書 1（７）用語の定義、2（１）システム化対象業務の概要、機能要件①（葬祭業者向け）項番5. 24 葬祭業者を通さず、自分のIDで予約する機能は、本業務の対象に含まれますでしょうか。 含まれない場合は予約するのは葬祭業者のみという理解でよろしいでしょうか。	愛川聖苑で導入する予約システムの運用方法として、システム利用 ID の付与対象については、葬儀業者の登録制を想定しており、個人に対し ID 登録を行わせることは想定しておりません。 個人予約の場合には、聖苑に電話にて申し込みいただき、聖苑職員が予約入力を行う方法を想定しています。 このような方法以外に良い運用方法があればご提案ください。
17	仕様書 4（２）情報セキュリティ要件「キ」機能要件②（職員向け）項番 6 葬祭業者の担当者一人ひとりに、個別のログインIDを発行する必要がありますでしょうか。もしくは業者ごと1つのIDでよいでしょうか。	愛川聖苑で導入する予約システムの運用方法として、システム利用 ID の付与対象については、葬儀業者ごとの登録制を想定しており、葬儀業者の職員各個には付与はせず、団体に対し付与した 1 つの ID を共有していただくことを想定しています。このような方法以外に良い運用方法があればご提案ください。
18	仕様書 2（３）画面要件機能要件（①葬祭業者向け）項番 9 火葬炉を使わず、式場だけを予約するケースはありますでしょうか。 ない場合は式場は火葬とあわせて予約する想定でお間違いございませんでしょうか。	愛川聖苑では、式場のみの利用は受け付けておりません。火葬炉は 1 日 9 枠の時間により運用（①9：30、②10：30、③11：30、④12：30、⑤12：30、⑥13：30、⑦14：30、⑧14：30、⑨15：30）しており、「④12：30 については第 1 式場（町内専用枠）」、「⑤12：30 については、第 2 式場利用者枠」として確保を行い、前日ならびに当日の式場使用とリンクさせ一括予約を行います。 その他の火葬炉の時間帯については、火葬炉単独利用となります。 ＊町内専用枠は「死亡者の住民登録地が愛川町」または「厚木市棚沢自治会に加入している者」に限定する。 (予約例) ◎第 1 式場（町内専用） ◎第 2 式場 4 月 1 日（通夜） 4 月 1 日（通夜） 4 月 2 日（告別式） 4 月 2 日（告別式） 4 月 2 日（火葬炉④12：30） 4 月 2 日（火葬炉⑤12：30） ＊火葬前日に通夜を執り行わない場合も祭壇の飾りつけ等を行うため、式場の予約は火葬前日と火葬当日の 2 日間が必要。
19	プロポーザル実施要領 5. 事業の概要仕様書 2（３）画面要件 午後0時30分の火葬枠を予約した時点で、対応する式場も同時に確保される仕組み（火葬枠と式場を別々に予約しない）が必要ですか。不要な場合は火葬枠と式場は別々に予約する想定でお間違いございませんでしょうか。	前No.18 のとおり

20	機能要件①（葬祭業者向け） 項番 5 求めている表示は、次のどちらになりますでしょうか。 （ア）当日と翌日の枠そのものを画面に出さない （イ）当日と翌日の枠（空き状況）が画面に出てもよいが、業者が予約できないことが分かればよい	表示方法は（ア）、（イ）のいずれも可とします。
21	機能要件①（葬祭業者向け） 項番45. 46 業者が利用登録を申請した時点でシステムがログインIDを自動で発行し、町が承認するまでは予約できないようにする方式は、No. 46に反しますでしょうか。 （ア）反しない（この方式でよい） （イ）反する（IDは町が発行する必要がある）	愛川聖苑で導入する予約システムの運用方法として、システム利用 ID の付与については、葬儀業者の登録制を想定しており、「（イ）反する（ID は町が発行する必要がある）」 こととなります。
22	機能要件②（職員向け） 項番30 「解除」は、次のどちらの操作を指しますでしょうか。 （ア）予約は残したまま、予約に紐づく葬祭業者を外す（業者の紐づかない予約にする） （イ）予約に紐づく葬祭業者を、別の葬祭業者に変更する	システム内の予約状況が「予約登録時」であり、その時点で業者情報を解除できることを指しますが、職員向け機能であることから、職権でどのような変更に対しても操作対応が可能であるものを希望しておりますので、（ア）（イ）共に対応可能であるものとしたい。
23	機能要件②（職員向け） 項番26 印刷に使う外字フォント（ファイル）について、次のどれに当たりますでしょうか。 （ア）町が保有しており、受注者に提供できる （イ）町は保有していない （ウ）町が保有しているが、受注者には提供できない	「（イ） 町は保有していない」に該当します。 本町が本システムに提供可能な外字フォント（ファイル）、外字ソフトウェア及び登録済みの外字データはありません。 また、本調達には、外字作成・管理ソフトウェアの調達並びに外字データの作成及び登録は含まないものとし、受注者がこれらを別途調達、作成又は登録する必要はありません。 なお、項番 26 については、Windows が標準で対応する文字の範囲内で、異体字を予約一覧に表示及び印刷できることを求めるものです。
24	機能要件①（葬祭業者向け） 項番13 クレジットカードなどによるオンライン決済の機能は、本業務の対象に含まれますでしょうか。含まない場合は使用料は窓口で受領する想定でよろしいでしょうか。	愛川聖苑においては、斎場という施設の性質上、個人利用はほとんどなく、施主は葬祭業者に委託を行い、死亡届提出、施設予約、施設使用料の支払いに至るまで、葬祭業者が行っているため、使用料支払いは個人のクレジットカード利用は想定しておらず、窓口で現金で受領することを想定。
25	仕様書 4（2）情報セキュリティ要件「セ」 機能要件②（職員向け） 項番49 ログを削除する機能を設けない提案でも差し支えございませんでしょうか。	ログの改ざん防止及び保存に係る要件を優先するため、ログ履歴を手動で削除する機能を設けない提案でも差し支えありません。
26	機能要件②（職員向け） 項番13 「予約可能時間」は、次のどちらを指しますでしょうか。 （ア）業者が予約できる期間（受付の締切など） （イ）火葬の時間帯（火葬枠として設定していない時刻）	（ア）業者が予約できる期間（受付の締切など）を意味します。
27	機能要件②（職員向け） 項番47 この要件の対象は、操作ログを検索する画面だけでしょうか。他の画面も対象の場合、対象の画面をお示しいただくことは可能でしょうか。	職員側において登録された「ID」、「パスワード」によりシステムに入ること で、その「ID＋パスワード」ごとに、直近で検索した条件が保持されること でありますので、職員が操作できる画面全てに対し、直近で検索した条件が 保持されることを想定しています。
28	仕様書 5（5）移行業務 これらの予約のシステムへの登録は、次のどれを想定していますか。 （ア）町が登録する （イ）受注者が登録する （ウ）システムには登録せず、紙台帳と並行して運用する	「（ア） 町が登録する」を想定。 現状、業者登録ならびに本格導入前に紙台帳で受けた一定時期の予約内容につ いては、移行スケジュールにて入力期間を提示いただき、町側で入力作業を 行うことを想定していますが、移行作業について、現状を捉え、より良い方 法などありましたら、ご提案ください。

29	仕様書 4（1）規模・性能要件「イ」、5（5）移行業務 機能要件②（職員向け）項番5 稼働開始時点の葬祭業者情報のシステムへの登録は、次のどれを想定していますか。 （ア）町が登録する （イ）受注者が登録する （ウ）各業者がシステム上で利用登録を申請する	「（ア）町が登録する」を想定。 現状、業者登録ならびに本格導入前に紙台帳で受けた一定時期の予約内容については、移行スケジュールにて入力期間を提示いただき、町側で入力作業を行うことを想定していますが、移行作業について、現状を捉え、より良い方法などありましたら、ご提案ください。
30	プロポーザル実施要領 5（4）システム稼働予定日、仕様書 10. スケジュール 検証稼働は、町職員が本番環境で操作を確認する期間（受入テスト）であり、葬祭業者がシステムから予約を行うのは本稼働（3月15日）からという理解でよいですか。異なる場合は検証稼働の期間中に葬祭業者が行う操作をお示しいただけますでしょうか。	検証稼働は、町職員が本番環境で操作を確認する期間（受入テスト）であり、葬祭業者がシステムから予約を行うのは本稼働（3月15日）以降となります。
31	仕様書 5（2）設計業務「イ」基本設計 町の他のシステム（住民記録、財務会計、収納・入金機、口座振替サービスなど）とのデータ連携は、本業務の対象外という理解でよいでしょうか。対象の場合は連携するシステムと内容をお示しいただけますでしょうか。	町の他のシステム（住民記録、財務会計、収納・入金機、口座振替サービスなど）とのデータ連携は、本業務の対象外となります。
32	仕様書 8（1）体制「ウ」担当者（イ） この「配置」は、体制図に位置づけて必要なときに対応する形（常駐や打合せへの毎回の出席は不要）の認識でよろしいでしょうか。常駐等が必要な場合、内容をお示しいただけますでしょうか。	「配置」は、体制図に位置づけて必要なときに対応する形（常駐や打合せへの毎回の出席は不要）との理解で良いです。
33	仕様書 6（3）～（5）、10. スケジュール （1）「町民等」向け研修の対象者は、システムを利用する葬祭業者の担当者となりますでしょうか。異なる場合は対象者をお示しください。 （2）研修は、町が用意する会場（愛川聖苑または役場）での集合形式（対面）もしくはオンライン等のどちらを想定しておりますでしょうか。 （3）「2回」は、同じ内容を日程を分けて2回実施するという意味でよろしいでしょうか。	（1）「町民等」向け研修の対象者は、システムを利用する葬祭業者の担当者となります。 （2）研修は、町が用意する会場（愛川聖苑または役場）での集合形式（対面）を想定しております。 （3）「（4）利用者向け」は、同じ内容で日程を分けて2回実施するという意味ですが、「（3）管理者向け研修」については、愛川聖苑と町役場を分けて受講することを想定しています。
34	仕様書 6（1）操作マニュアルの作成 （1）操作マニュアルは、提案システムの標準マニュアルに貴町向けの設定内容（予約項目・帳票など）を反映したものでよいでしょうか。専用に個別作成が必要な場合、指定する様式・構成はありますでしょうか。その場合、内容をお示しいただけますでしょうか。	操作マニュアルは、提案システムの標準マニュアルに本町向けの設定内容（予約項目・帳票など）を反映したものでよいです。
35	仕様書 7（2）イ（イ）問合せ受付・対応 問合せ受付の対象は町の職員からの問合せであり、葬祭業者からの操作に関する問合せは貴町が一次受付を行い、必要に応じて受注者へ連絡する、という理解でよいですか。受注者が葬祭業者から直接受け付ける場合は時間帯・方法をお示しいただけますでしょうか。	仕様書 7(2)イ(イ)における問合せ受付の対象は、町の職員からの問合せとなります。
36	仕様書 1（6）システム形態 LGWAN-ASP による提供は必須ではなくインターネットを介したSaaSサービスで問題ない認識でお間違いございませんでしょうか。	ご認識のとおりです。 LGWAN-ASP による提供は必須ではなく、インターネットを介した SaaS による提供も可能です。 ただし、インターネット回線を使用する場合は、KSC（神奈川情報セキュリティクラウド）のセキュアブラウザで利用できることを要件とします。

37	仕様書 3（2）ウ（イ）クライアントPCの仕様 提案システムがブラウザだけで利用でき、PCへのソフトウェアのインストールが不要な場合、セットアップは KSC セキュアブラウザからの接続確認（URL の登録など）を町の担当職員と協議して行うという認識でお間違いございませんでしょうか。異なる場合は想定している作業をお示してください。	ご認識のとおりです。 提案システムがブラウザのみで利用でき、クライアント PC へのソフトウェアのインストールが不要な場合は、KSC セキュアブラウザからの接続確認、必要に応じた URL の登録その他システムの利用に必要な設定及び動作確認を、本町の担当職員と協議の上、実施してください。
38	仕様書 2（3）画面要件 「火葬炉の火葬開始時刻9枠を選択し、0時30分の2枠は第1式場・第2式場とリンク」とありますが、これは同一施設内の面同士の排他制御（ブロック管理）ではなく、火葬炉と式場という別々の室場間で片方の枠選択がもう片方を自動連動させることは必須でしょうか。	火葬炉午後 0 時 30 分の 2 枠は第 1 式場・第 2 式場利用者の専用枠となりますことから、火葬炉と式場という別々の室場間で片方の枠選択がもう片方を自動連動させることは必須としたいものです。
39	プロポーザル実施要領 5. 事業の概要 「予約、申請、許可、決済等の一連の手続きをオンラインで行う」とありますが、別紙1の画面・帳票要件には決済機能の詳細記載がありません。オンライン決済（キャッシュレス）機能は本調達の対象に含まれますでしょうか。	「予約、申請、許可、決済等の一連の手続きをオンラインで行う」とあるのは、今後施設の予約情報の管理をシステム内で一元化して管理していくことを意味するものでありまして、オンライン決済（キャッシュレス）機能は本調達の対象に含まれません。
40	仕様書 2（3）画面要件 式場の告別式開始時刻（第1式場11:00／第2式場11:30）は固定枠として設定すればよいでしょうか。また、施設側で変更可能な設定項目として持たせる必要はありますか。	初期設定として、式場の告別式開始時刻（第 1 式場 11:00／第 2 式場 11:30）は設定しておくが、まれに、時間指定のある葬儀もあるので、施設側で変更可能な設定項目として持たせる必要はあります。
41	仕様書 2（3）画面要件 「町内外別」によって第1式場（町内専用）・第2式場（町内・町外）の利用可否が分かれるとのことですが、予約入力時にこの利用可否判定をシステムが自動で行う必要がありますでしょうか。 もしくは職員様側の運用チェックを想定しておりますでしょうか。	予約入力時に、死亡者住所に基づく町内・町外の区分をシステムが判定し、町外の場合は第 1 式場を予約できないよう自動的に制御できることを希望します。 なお、判定は予約操作を行う葬祭業者等の所在地ではなく、予約入力画面に入力する死亡者住所に基づくものとします。
42	仕様書 2（4）帳票要件 「愛川聖苑火葬炉等使用承認書」「愛川聖苑火葬炉使用承認書」の国標準様式の現物（フォーマット）を提供いただくことは可能でしょうか。	愛川聖苑火葬炉使用承認書の国標準様式の現物（フォーマット）を提供いたします。
43	その他 ISMAPまたは「クラウド情報セキュリティ監査制度等」への適合は必須要件でしょうか。もしくはセキュリティ証跡（第三者認証等）でも許容されますでしょうか。	ISMAP 又は「クラウド情報セキュリティ監査制度等」への適合は必須要件ではありません。仕様書では、これらを含む各種認証制度への適合を原則として求めています。 適合していない場合は、取得している第三者認証、監査報告書その他の客観的な資料により、同等の情報セキュリティ対策を講じていることを提案書に示してください。
44	機能要件①（葬祭業者向け）、機能要件②（職員向け） 愛川聖苑予約システム機能要件一覧 機能要件1 葬祭業者及び利用者向け機能 別紙2及び愛川聖苑予約システム機能要件一覧 機能要件2 職員向け機能 別紙2に記載の内容は全て必須となりますでしょうか。また、対応できない項目や補足や代替案等がある場合、企画提案書とは別に補足資料としてご提出させていただくことは可能でしょうか。	提案者間で同一の条件により比較・評価できるよう、対応可否及び代替方法を明示する必要があると考えますことから、別紙として、パッケージ適合状況を提示しますので、提案書提出と共に提出を行ってください。

45	機能要件①（葬祭業者向け）、機能要件②（職員向け） 機能要件においてカスタマイズ等が必要な場合、一部の機能については本稼働後にバージョンアップ等で機能追加するなどの実装時期のご相談をさせていただくことは可能でしょうか。	可能です。
----	---	-------